

訪問看護ステーションは〜とふる多摩センター 新型コロナウイルスへの対策

多摩市でも『新型コロナウイルス』の感染者確認が発表されました。『訪問看護ステーションは〜とふる多摩センター』では、これまでも各種感染症を想定し衛生管理、清潔保持に努めてきましたが、昨今の『新型コロナウイルス』の感染拡大を受け、以下のように更なる感染防止の徹底をいたします。皆さまご自身、そして大切な方々の命を守るため、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

は〜とふる全スタッフの取り組み

- 看護師には直行直帰の制度を適用し、事務所内にスタッフが3人以上滞在する瞬間を最小限にし、スタッフ同士が接近しないようにしております。
- 事務職員を在宅ワークに移行しているところです。
- 出勤時や訪問からの戻りなどで事務所に入室する際には検温を実施し、体調管理を徹底しています。
- 体調がすぐれない時、体温が 37.5℃以上ある時は出勤をさせないように指導しています。
- 勤務外の時であっても、不要不急の外出を控えるよう指導しています。

ご利用者の皆さまへのお願い

- ケアに入らせていただく際には、看護師の手指洗浄のために水道を使わせてください。
- マスク着用でケアをさせていただくため、看護師の声が聴きづらかったらお申しつけください。
- 訪問時の検温で、皆さまに 37.5℃以上の発熱があった場合は詳しく身体の様子をお教えてください。主治医の先生に報告し適切な指導を仰ぎます。医師の指示によってはいつものケアの中止や時間短縮、ケア内容の変更などが行われることがあります。また、ご家族の皆さまにもマスクの着用をお願いすることがあります。
- 以上の対応のため、急な担当変更や時間変更等の対応をお願いすることがあります。

もし感染の疑いがある場合は

- 職員に感染の疑いまたは濃厚接触の覚えがある場合には、以後の対応について保健所の指導に誠実に従い、早急な情報開示に努めます。
- その際、関係者の個人情報およびプライバシーは固く守ります。

以上は基本方針です。必要に応じて改善し実行いたします。

テレビや新聞などの報道でもいわれている通り、この『新型コロナウイルス』は、「ご高齢者」や「もともとご病気を抱えていらっしゃる方」にとっては特に注意が必要な感染症です。

だからこそ、医療者による健康観察はいつも以上に大切になっていきます。『は～とふる多摩センター』の看護師も、医師やヘルパーなどすべてのケア職の方々と同様に、全力で感染症予防に努め、『いつもと変わらない、当たり前の訪問看護サービス』が正しくお届けできるよう尽力いたします。

在宅療養をされている皆さまは、不要不急の外出を避けつつ、屋内で『いつも通りの静かな生活』をゆっくりとお過ごしください。気になることがあれば医師、看護師、ヘルパーほか関係者にしっかりとお気持ちをお聞かせください。心を合わせて、この困難を健康に、そして元気に乗り越えましょう。皆さまのご協力をお願いいたします。

2020年4月15日

訪問看護ステーションは～とふる多摩センター
スタッフ一同

すべての大切な皆さまへ